



二輪草だより

イブニングセミナー開催のお知らせ

日時:平成26年5月23日(金)18:00~19:30

*神奈川県立保健福祉大学専任講師の生田 倫子先生をお招きし「職場ストレス
対処にブリーフセラピーを活かす試み」について講演して頂きます。

「潜在看護師と潜在助産師のための復職支援研修」終了報告

職場適応支援担当 菊地 美登里

平成22年度から開始した復職支援研修は今年度で4回目になります。例年、潜在看護師を対象に実施してきましたが、今年度からは潜在助産師の方にも参加いただけるように企画し、3月3日(月)~7日(金)の5日間で行いました。定員を看護師5名、助産師3名としましたが、応募者が多く最終的に看護師9名、助産師1名の計10名の方が受講しました。

受講者の臨床経験のブランクは10年前後~20年の方で、旭川市内や近郊からの参加でした。研修は、講義の一部と病棟実習を「看護師コース」「助産師コース」に分けて行いました。

研修1日目、最初に看護師コースは看護部長から「医療・看護の動向」について、助産師コースは副看護部長から「周産期医療について」の講義があり、その後、専任リスクマネージャー・感染対策師長からそれぞれ「医療安全」「感染対策」について、薬剤師からは「注射剤の基礎知識」についての講義がありました。

2日3日目の、看護技術演習では、1グループ2~3人の少人数とし当院看護部の教育担当部門が作成したDVDやシミュレーションモデルを活用し実施しました。受講者は最初緊張している様子でしたが、徐々に手技の感覚を取り戻し長いブランクを感じさせないほどでした。

4日5日目の病棟実習では、担当看護師とともに行動し看護場面の体験や見学を行いました。助産師コースでは、産科病棟に加え産科外来の実習を行い「助産師外来」「母親学級」を見学しました。受講者は「白衣を着て患者さんや赤ちゃんに接することができワクワクした、楽しかった」と口をそろえて感想を述べていました。

研修最後のフリートークでは10人が一つのチームのように打ち解け、研修に応募することに勇気が必要だったが、研修を終え働きたい気持ちが強くなった。やはり自分は「看護」が好きなのだとの再確認できたと話されました。そのことに気づけたことだけで研修の意義はあったと思いました。

最後に吉田学長からの修了証書を上田看護部長から手渡され、受講者の皆さんの表情は一步踏み出した晴れやかな表情に見えました。

今回の研修を通して、働きたい意欲のある潜在看護職の方がまだまだたくさんいるということがわかり、これからも一人でも多くの方の復職を手助けしたいと考えています。



センターの活動予定

◆4月上旬

女性医師在籍状況調査

◆4月下旬

二輪草プラン推進委員会議 二輪草だより4月号発行

平成25年度女性医師支援事業連絡協議会参加報告

二輪草センター助教 菅野 恭子

2月21日に開催された平成25年度女性医師支援事業連絡協議会に参加しました。議事は女性医師支援センター事業ブロック別会議の開催報告で各ブロックから医師会の様々な取り組みを知る良い機会でした。中でも印象に残ったのは愛媛県医師会で行われている『地域のマドンナ・ドクター養成プロジェクト』です。平成19年度から実施されているこのプロジェクトは様々な理由でいったん離職した女性医師の段階的な復職を支援する研修を、付属病院・総合臨床研修センターがコアとなって提供されているもので、総合臨床研修センターを通じて希望の診療科にて研修した後、地域医療機関への再就職を支援するプロジェクトです。専属の女性医師メンターを配置し能力が円滑に向上しやすいよう配慮しているとのことでした。我々の二輪草センターでも復職支援教育プログラムは存在しており看護師はうまく機能していますが、医師は科が多岐にわたっているため系統だったプログラムの作成は困難であり十分に機能しているとはいえない状況でした。今後臨床研修センターと提携することで同様のプログラムを作ることは可能ではないかと考えました。

兵庫県医師会からはベビーシッター料金一部負担制度について紹介されていました。県内医療機関に勤務されている研修医、勤務医にベビーシッターの一部を負担するもので、通常の保育施設を使用している時間帯以外に発生した場合を対象としています。子育て中は働くにあたって色々とお金がかさみますが、働き方によっては収入を上回ってしまう時期もあるかと思えます。このような助成があるとありがたいと思えました。

質疑応答では参加者から活発な意見が多数あり大変参考になりました。今回の会を通して様々な支援センターの工夫や取り組みを知り今後生かしていきたいと思える良い機会であったと思います。

病児一時預かり室・バックアップナース・病後児保育室・カウンセリング相談 【2月20日~3月19日までの利用状況】

病児一時預かり室	依頼回数	0回	利用回数	0回
バックアップナース	依頼回数	20回	稼働回数	20回
病後児保育室	依頼回数	13回	利用回数	11回
カウンセリング相談			利用回数	9回

* 病児一時預り室・病後児保育室は全職員・学生がご利用になれます



【お問い合わせ先】

旭川医科大学 二輪草センター(復職・子育て・介護支援センター)
〒078-8510 北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1-1
TEL 0166-69-3240(内線3240) サンニンヨレ FAX 0166-69-3249
E-mail: nirinsou@asahikawa-med.ac.jp
開設時間8時30分~17時15分